第6章

拡張機能を使う

RDC-i700 Explorer Plug-In を使う

Windows に RDC-i700 Explorer Plug-In（RDC-i700 エクスプローラプラグイン）がインストールされていれば、カメラとパソコンの間でデータをコピーしたり、カメラの設定をパソコンにバックアップしたりすることができます。

重要

- パソコンとのデータ通信中はフラッシュランプ（赤色）が点滅します（ただし、LAN接続の場合には点滅しません）。通信中はケーブルを抜いたり、カメラの電源を切らないでください。カメラやパソコン本体に影響をあたえることがあります。通信中にケーブルを抜いてしまった場合は、カメラとパソコンの電源を入れ直してください。
- カメラをバッテリーで使用するのはなるべくさけ、AC アダプターをご使用ください。操作中に電源が切れると、カメラやパソコン本体に影響を与えることがあります。
- エクスプローラ上やデスクトップ上では、カメラのメディアに対するファイルの読み書きが自由にできますが、アプリケーションからカメラのメディアの読み書きはできません。一旦、パソコンのディスクに保存してからエクスプローラでコピーしてください。
  ただし、一部のアプリケーションでは、カメラのメディアの読み書きが可能な場合もあります。
- ［RDC - i700 ］のアイコンはカメラと接続されていなくても、常時フォルダ表示領域にマウントされています。カメラが接続されていない状態でアクセスしようとすると接続エラーとなります。
- 非圧縮の静止画は、特殊な TIFF ファイルで保存されています。このため、RDC-i700 Explorer Plug-In を使ってカメラからパソコンにファイルをコピーしても、一般的なグラフィックアプリケーションソフトでは開けない場合があります。この場合には、TWAIN（P. 142）を使ってファイルを開いてください。また、TWAIN を使ってカメラからパソコンに画像を転送した場合には、一般的な TIFF ファイルに変換します。

❶ カメラを正しく接続し、カメラのモードダイヤルを［］に合わせます。そしてカメラとパソコンの電源を入れます。

❷ ［スタート］メニューから［プログラム］の［エクスプローラ］を選択します。

エクスプローラが起動します。

❸ ウィンドウの右側の［RDC-i700］にポインタを合わせ右クリックします。

メニューが表示されます。

❹［RDC-i700 プロパティ］をクリックします。



カメラの IP アドレスを設定するウィンドウが表示されます。

❺ カメラの液晶モニターに表示されている IP アドレス（「.」で区切られた 4 つの数字）を入力します。



❻［OK］をクリックします。

これで、カメラがパソコンに認識されます。

［RDC-i700］の左側の［＋］をクリックすると、カメラのメディアが表示されます。あとは、普通のディスクのようにフォルダやファイルを開いたり、コピーしたり、削除したりすることが自由にできます。
通常は、「DCIM」フォルダ内の「100ricoh」に画像が保存されています。

カメラとパソコンの接続を外すときやカメラの電源を切る場合には、［RDC-i700 プロパティ］のメニューから［切断］を選択してから、作業を行ってください。

重要

・RDC-i700 Explorer Plug-In を使って、メディアのフォルダ名を変更することができますが、DCFのフォーマットに基づいてファイル名変更を行わないと、カメラで正常にフォルダが読み込めなくなります。フォルダ名は「100RICOH」のように、半角数字 3 文字＋アルファベット半角 5 文字でないとカメラ内で認識できません。
・また、RDC-i700 Explorer Plug-In を使って、カード内のフォルダ名変更を行い、そのカードを他のカメラで使用したときには、フォルダ名が読めなくなったり、保存した写真が読み込めない場合があります。

補足 ・マイコンピュータをダブルクリックして表示されるウィンドウでも、カメラのメディアを扱うことができます。

コラム

Microsoft PowerPoint のプレゼンテーション資料を使う

Microsoft PowerPointを使って作成したプレゼンテーション資料を、カメラにコピーすれば、いつでもどこでもプレゼンテーションが可能になります。
PowerPointで作成したプレゼンテーション資料を、「JPEGファイル交換形式」という形式で保存します。



この形式で保存すると、新しいフォルダが作成され、プレゼンテーション資料の各ページは、1枚ずつJPEG形式の画像ファイルとしてその中に保存されます。続いて、RDC-i700 Explorer Plug-Inを使って、そのフォルダ内の各ファイルをカメラ側の「DCIM」フォルダ内にある適当なフォルダにコピーします。
あとは、カメラ側で、コピー先として指定したフォルダを選択し、オートで再生すれば、カメラひとつでプレゼンテーションを行うことができます。
また、カメラ側のプレゼンテーション機能を使って、特定の画像を外したり、順番を入れ替えたり、することもできます。

なお、パソコンにカメラ用のカードをセットし、プレゼンテーション用の画像をコピーすると、カメラでうまく表示されない場合があります。

RDC-7/i700 Mounterを使う

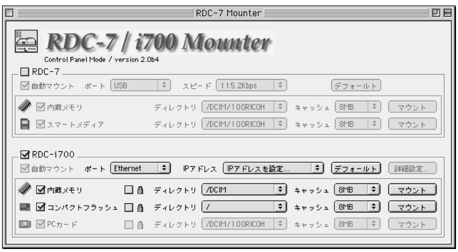
Macintosh に RDC-7/i700 Mounter（RDC-7/i700 マウンター）がインストールされていれば、カメラとパソコンの間でデータをコピーしたり、カメラの設定をパソコンにバックアップしたりすることができます。

重要

・パソコンとのデータ通信中はフラッシュランプ（赤色）が点滅します（ただし、LAN接続の場合には点滅しません）。通信中はケーブルを抜いたり、カメラの電源を切らないでください。カメラやパソコン本体に影響をあたえることがあります。通信中にケーブルを抜いてしまった場合は、カメラとパソコンの電源を入れ直してください。
・カメラをバッテリーで使用するのはなるべくさけ、AC アダプターをご使用ください。操作中に電源が切れると、カメラやパソコン本体に影響を与えることがあります。
・ファインダ上では、カメラのメディアに対するファイルの読み書きは自由にできますが、アプリケーションからカメラへの書き込みはできません。アプリケーションで作成したデータをカメラで再生したい場合には、一旦パソコンのディスクに保存してから、ファインダでカメラにコピーしてください。（このとき、ファイル名を半角英数字 8 文字、拡張子 3 文字の形式にしてからコピーしてください）
・非圧縮の静止画は、特殊な TIFF ファイルで保存されています。このため、RDC-7/i700 Mounter を使ってカメラからパソコンにファイルをコピーしても、一般的なグラフィックアプリケーションソフトでは開けない場合があります。TWAIN（P. 142）を使ってパソコンに転送すれば、一般的な TIFF ファイルに変換しますので、一般的なグラフィックアプリケーションソフトで開くことが可能となります。

❶ カメラを正しく接続し、カメラのモードダイヤルを［ ］に合わせます。そしてカメラとパソコンの電源を入れます。

❷ アップルメニューの［コントロールパネル］の［RDC-7/i700 Mounter］を選択します。



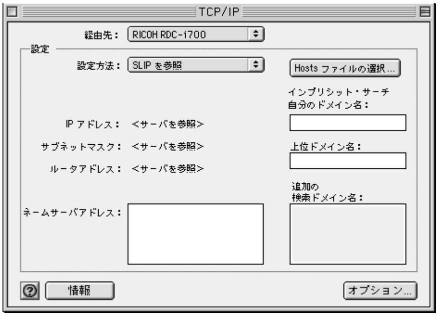
❸「ポート」を選択します。

USB 接続の場合には［USB］を、シリアル接続の場合には［モデム］または［プリンタ］を、LAN 接続の場合には［Ethernet］を選択します。

❹ **アップルメニューの［コントロールパネル］から［TCP/IP］を選択し、接続方法に応じて、次のように設定を行います。**

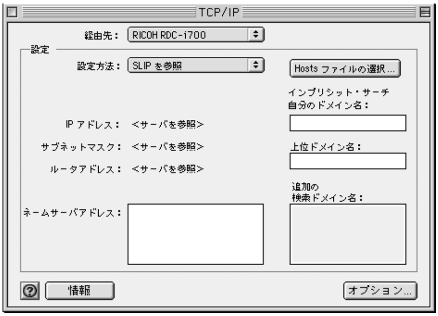
● USB 接続の場合

［経由先］として［RICOH RDC-i700］を選択します。



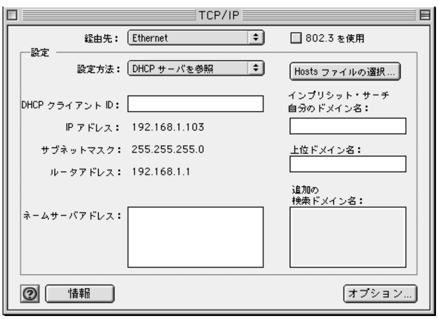
●シリアル接続の場合

［経由先］として［RICOH RDC-i700］を選択し、［設定方法］で［SLIP を参照］を選択します。



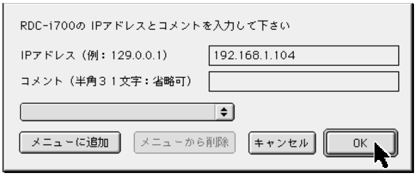
● LAN 接続の場合

［経由先］として［Ethernet］を選択します。



設定が終わったら、TCP/IP のコントロールパネルを閉じます。

❺ LAN接続の場合は、RDC-7/i700 Mounterコントロールパネルの［IPアドレス］のメニューをクリックして、［IP アドレスを設定］を選択します。
カメラの液晶モニターに表示されているIP アドレス（「.」で区切られた4 つの数字）を入力し、［OK］をクリックします。



❻ 接続したいメディアの［マウント］をクリックします。

これで、デスクトップにカメラのアイコンが表示されます。

補足
- ディレクトリを指定することで、デスクトップにマウントするフォルダを変えることができます。
- USB 接続の場合、［自動マウント］にチェックを付けておけば、カメラを接続すると自動的にマウントするようになります。
- シリアル接続で、安定して通信が行われない場合には、RDC-7/i700 Mounter コントロールパネルの［スピード］の設定を低くしてみてください。

あとは、フォルダやファイルを開いたり、コピーしたり、削除したりすることが自由にできます。

接続を終えるときはRDC-7/i700 Mounter コントロールパネルの［アンマウント］をクリックするか、カメラのアイコンを［ごみ箱］にドラッグ&ドロップしてください。

重要
- RDC-7/i700 Mounterを使って、メディアのフォルダ名を変更することができますが、DCFのフォーマットに基づいてファイル名変更を行わないと、カメラで正常にフォルダが読み込めなくなります。フォルダ名は「100RICOH」のように、半角数字3文字＋アルファベット半角5文字でないとカメラ内で認識できません。
- また、RDC-7/i700 Mounterを使って、カード内のフォルダ名変更を行い、そのカードを他のカメラで使用したときには、フォルダ名が読めなくなったり、保存した写真が読み込めない場合があります。

カメラの設定をバックアップする

現在カメラに設定されているすべての情報（撮影した画像や動画、録音した音声などのデータ以外のすべての情報）を、パソコンにバックアップする「設定情報の保存」の方法と、バックアップした情報をカメラに戻す「設定情報の再登録」の方法を説明します。

補足 ・この機能は、次のような場合に使います。
- ・万が一の事故や操作ミスに備えて、カメラの設定をバックアップしておきたいとき。
- ・設定した内容を共有したいとき（この場合は、バックアップを実行した後、別のカメラを接続し、リストアを実行します）。
- ・1台のカメラを、複数の人間で利用するとき（あらかじめ、各人それぞれがカメラを設定した後、バックアップしておき、使用者が変わるたびにリストアで設定を入れ替えます）。

バックアップする

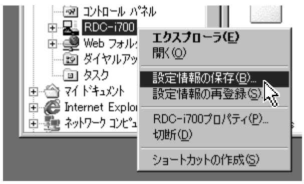
■ Windows の場合

❶ カメラを正しく接続し、カメラのモードダイヤルを［ ］に合わせます。そしてカメラとパソコンの電源を入れます。

❷［スタート］メニューから［プログラム］の［エクスプローラ］を選択します。

エクスプローラが起動します。

❸［RDC-i700］のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［設定情報の保存］を選択します。



保存場所やファイル名を指定するダイアログボックスが表示されます。

❹ 保存場所やファイル名を指定した後、［保存］をクリックします。

これで設定情報が、パソコン側に保存されます。

補足 ・ここでは、右クリックを使う方法を説明していますが、エクスプローラの［ファイル］メニューからもこの機能を選択することができます。

■ Macintosh の場合

Macintosh の場合には、「設定情報の保存」、「設定情報の再登録」は、「設定メニュー」というアプリケーションを使って行います。

❶ カメラを正しく接続し、カメラのモードダイヤルを［　］に合わせます。そしてカメラとパソコンの電源を入れます。

❷ アップルメニューの［コントロールパネル］の［RDC-7/i700 Mounter］を選択します。

RDC-7/i700 Mounter のウィンドウが表示されます。

❸ ［詳細設定］をクリックします。

補足 ・［詳細設定］は、いずれかのメディアがマウントされていないと、クリックできません。まだメディアがマウントされていない場合は、先にメディアをマウントしておいてください。（P. 131）
・接続方法や状況によっては、カメラのIPアドレスを入力する画面が表示されることがあります。この場合には、カメラの液晶モニターに表示されている IP アドレスを入力してください。

処理選択の画面が表示されます。

❹ ［設定情報の保存］を選択します。



保存場所やファイル名を指定するダイアログボックスが表示されます。

❺ 保存場所やファイル名を指定した後、［保存］をクリックします。

これで設定情報が、パソコン側に保存されます。

バックアップした設定をカメラに戻す

パソコンのディスクにバックアップされたカメラの設定ファイルを、カメラに戻します。

重要

・この機能を実行すると、現在のカメラの各種設定は、すべて消えてしまいます。

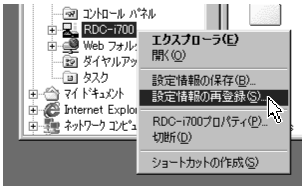
■ Windows の場合

❶ カメラを正しく接続し、カメラのモードダイヤルを［ ］に合わせます。そしてカメラとパソコンの電源を入れます。

❷［スタート］メニューから［プログラム］の［エクスプローラ］を選択します。

エクスプローラが起動します。

❸［RDC-i700］のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［設定情報の再登録］を選択します。



読み込むファイルを選択するダイアログボックスが表示されます。

❹ ファイルを選択した後、［開く］をクリックします。

これで選択した設定情報がカメラに転送されます。

❺ 一旦、カメラの電源を切り、5 秒ほど待ってから再び電源を入れます。

これで、転送された設定でカメラが使えるようになります。

補足

・ここでは、右クリックを使う方法を説明していますが、エクスプローラの［ファイル］メニューからもこの機能を選択することができます。

■ Macintosh の場合

❶ カメラを正しく接続し、カメラのモードダイヤルを［ ］に合わせます。そしてカメラとパソコンの電源を入れます。

❷ アップルメニューの［コントロールパネル］の［RDC-7/i700 Mounter］を選択します。

RDC-7/i700 Mounter のウィンドウが表示されます。

❸［詳細設定］をクリックします。

補足
・［詳細設定］は、いずれかのメディアがマウントされていないと、クリックできません。まだメディアがマウントされていない場合は、先にメディアをマウントしておいてください。
・接続方法や状況によっては、カメラのIPアドレスを入力する画面が表示されることがあります。この場合には、カメラの液晶モニターに表示されている IP アドレスを入力してください。

処理選択の画面が表示されます。

❹［設定情報の再登録］を選択します。



読み込むファイルを選択するダイアログボックスが表示されます。

❺ ファイルを選択した後、［開く］をクリックします。

これで選択した設定情報がカメラに転送されます。

❻ 一旦、カメラの電源を切り、5 秒ほど待ってから再び電源を入れます。

これで、転送された設定でカメラが使えるようになります。

スタンプファイルを転送する

パソコンで作ったスタンプ用の画像ファイルをカメラに転送する「画像スタンプ転送」機能を説明します。

補足 ・スタンプファイルは、ペイント系のアプリケーションソフトを使って作成してください。

スタンプファイルについて

スタンプは、どの画質モードでも使えるように、内部的に大きさの異なる3種類のデータを持っています。2048 × 1536 用、1024 × 768 用、640 × 480 用の 3 種類です。このため、この3種類の画質モード用に、それぞれ画像ファイルを作ってカメラに転送すれば、どの画質モードでも最適なスタンプ効果が得られることになります。例えば、画像の縦1/8、横1/8を隠すような四角形をスタンプにする場合、2048 × 1536 用には 256 × 192 の四角形の画像ファイルを作り、1024 × 768 用には 128 × 96 の四角形の画像ファイルを作り、640 × 480 用には 80 × 60 の四角形の画像ファイルを作ります。

しかし、2048 × 1536 の画質モードでしか撮らない場合、1024 × 768 用や 640 × 480 用の画像ファイルを作るのは面倒です。こんなときは、2048 × 1536 用の画像ファイルだけを作ります。この場合、1024 × 768 用や 640 × 480 用のデータは自動的に作られます。このとき縮小処理のため画像が少し粗くなります。逆に 640 × 480 の画質モードでしか撮らない場合には、640 × 480用の画像ファイルだけを作ります。この場合、2048 × 1536 用、1024 × 768 用のデータは自動的に作られます。このときは、拡大処理のため画像がかなり粗くなることにご留意ください。

●サイズ

画像ファイルのサイズ（縦横のドット数）は、3 種類の画質モード、横 2048 ×縦 1536、横 1024 ×縦 768、横 640 ×縦 480 のいずれかを目安に、相対的に大きさを考えて決めてください。例えば、横 2048 ×縦 1536 の画質モードで、画像の縦 1/8、横 1/8 を隠すような四角形のスタンプを作る場合には、256 × 192 画素の画像ファイルを作ります。

重要 ・スタンプファイルは、縦×横の画素数が、90000 以下となるように作成してください。例えば、300 × 300 の画像や 450 × 200 の画像が、ちょうど 90000 です。

●ファイル形式

画像ファイルは、GIF形式またはBMP（Bitmap）形式のファイルで保存してください。

GIF形式の場合、透過色で塗られた範囲が、下の写真が透けて見える部分となります。BMP形式の場合には、透けて見える部分を作ることはできません。

Windows の場合

❶ カメラを正しく接続し、カメラのモードダイヤルを［ ］に合わせます。そしてカメラとパソコンの電源を入れます。

❷［スタート］メニューから［プログラム］の［エクスプローラ］を選択します。

エクスプローラが起動します。

❸ スタンプファイル用に作成した画像ファイルを選択します。

各画質モード用に、複数の画像ファイルを作成した場合には、［Ctrl］キーを押しながら、そのすべての画像ファイル（最大3つ）を選択してください。

エクスプローラのウィンドウ内でも、［マイコンピュータ］のウィンドウ内でもかまいません。

❹［ファイル］メニューから［送る］-［RDC-i700 スタンプ転送］を選択します。

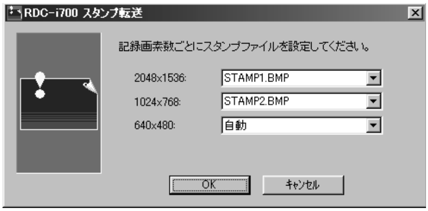
画像ファイルの上で右クリックすると表示されるメニューから、［送る］-［RDC-i700 スタンプ転送］を選択することもできます。



スタンプに使用する画像ファイルを選択するダイアログボックスが表示されます。

❺ それぞれの画質モードで、スタンプにする画像ファイルを選択します。

［自動］を選択すると、他の画質モード用の画像ファイルを縮小／拡大して自動的にスタンプファイルを作成します。



❻［OK］をクリックします。

これで、選択した画像ファイルがスタンプとしてカメラに転送されます。

Macintosh の場合

Macintosh の場合、「画像スタンプ転送」は「設定メニュー」アプリケーションを使って行います。

❶ カメラを正しく接続し、カメラのモードダイヤルを［〜］に合わせます。そしてカメラとパソコンの電源を入れます。

❷ アップルメニューの［コントロールパネル］の［RDC-7/i700 Mounter］を選択します。

RDC-7/i700 Mounter のウィンドウが表示されます。

❸［詳細設定］をクリックします。

補足

・［詳細設定］は、いずれかのメディアがマウントされていないと、クリックできません。まだメディアがマウントされていない場合は、先にメディアをマウントしておいてください。（P. 131）

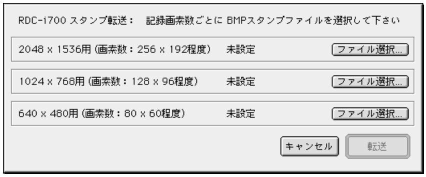
・接続方法や状況によっては、カメラのIPアドレスを入力する画面が表示されることがあります。この場合には、カメラの液晶モニターに表示されている IP アドレスを入力してください。

処理選択の画面が表示されます。

❹［画像スタンプ転送］を選択します。



スタンプに使用する画像ファイルを選択するダイアログボックスが表示されます。



❺ 各サイズの［ファイル選択］をクリックし、スタンプに使うファイルを選択して［開く］をクリックします。

必ずすべてのサイズでファイルを選択してください。

❻［転送］をクリックします。

これで、選択した画像ファイルがスタンプとしてカメラに転送されます。

TWAIN 機能を使う

TWAIN機能を使えば、アプリケーションソフトウェアから直接カメラに記録されている画像（あるいはディスクに保存されている画像）を読み込んで表示し、編集することができます。ただし、TWAIN機能が使えるのは、TWAIN対応のアプリケーションソフトウェアに限られます。

補足
・一般に、グラフィックアプリケーションソフトウェアの多くが、TWAINに対応しています。
・無圧縮の静止画は、特殊なTIFF形式のファイルです。このため、RDC-i700 Explorer Plug-In や RDC-7/i700 Mounter を使って、無圧縮の静止画をカメラからパソコンのディスクにコピーしても、その画像を一般的なグラフィックアプリケーションソフトウェアで開けないことがあります。このような場合、TWAIN を使えば、その画像（パソコンのディスクの画像）を開くことができます。

Windows の場合

Windows の入ったパソコンで TWAIN 機能を使う方法を紹介します。

❶ カメラが正しく接続されていること、カメラの電源が入っていること、カメラのモードダイヤルが［ ］になっていることを確認します。

❷ パソコン側でTWAIN対応アプリケーションソフトウェアを起動します。
ここでは、アプリケーションソフトウェア「DU-7」を例にして説明を進めます。

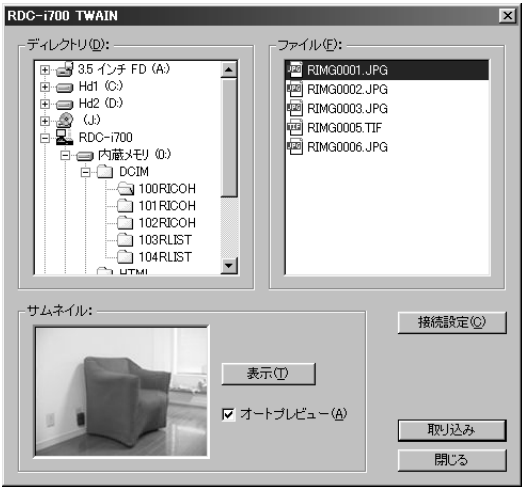
❸［ファイル］メニューから［TWAIN対応機器からの入力］を選択します。
アプリケーションソフトウェアによって、メニュー内の機能名称は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトウェアの説明書をご覧ください。



補足 ・TWAIN対応機器が複数台接続されている場合には、前記の操作を行う前に「どのTWAIN機器を使用するか」を選択しておく必要があります。この操作には、「TWAIN対応機器の選択」などといった名前の機能を使います。多くの場合、［TWAIN対応機器からの入力］のすぐそばにこの項目があるはずです。詳しくは、アプリケーションソフトウェアの説明書をご覧ください。
・接続方法や状況によっては、カメラのIPアドレスを入力する画面が表示されることがあります。この場合には、カメラの液晶モニターに表示されているIPアドレスを入力してください。

メディアやフォルダ、ファイルを選択する画面が表示されます。（アプリケーションソフトによっては、ファイル形式などを指定する手順が加わる場合があります）

❹ メディア（またはディスク）、フォルダを選択し、表示されたファイル一覧から、読み込みたい画像を選択した後、［取り込み］をクリックします。



これで、選択した画像が読み込まれ、画面に表示されます。

補足 ・サムネイルの部分の［表示］をクリックすると、選択している画像の縮小イメージを確認することができます。
・［オートプレビュー］にチェックマークを付けておくと、選択した画像の縮小イメージが自動的に表示されるようになります。
・［接続設定］をクリックすることで、カメラのIPアドレスを変更することができます。

Macintoshの場合

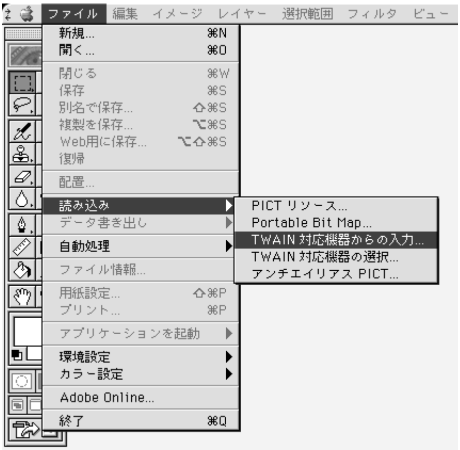
Macintosh で TWAIN 機能を使う方法を紹介します。

❶ **カメラが正しく接続されていること、カメラの電源が入っていること、カメラのモードダイヤルが［ ］になっていることを確認します。**

❷ **RDC-7/i700 Mounterを使って、画像を読み込みたいカメラのメディアをデスクトップにマウントします。**
カメラのメディアのマウントの方法については「RDC-7/i700 Mounterを使う」（P.131）をご覧ください。

❸ **パソコン側でTWAIN対応アプリケーションソフトウェアを起動します。**
ここでは、アプリケーションソフトウェア「Photoshop」を例にして説明を進めます。

❹ **［ファイル］メニューから［TWAIN対応機器からの入力］を選択します。**
アプリケーションソフトウェアによって、メニュー内の機能名称は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトウェアの説明書をご覧ください。



補足 ・TWAIN対応機器が複数台接続されている場合には、上記の操作を行う前に「どのTWAIN機器を使用するか」を選択しておく必要があります。この操作には、「TWAIN対応機器の選択」などといった名前の機能を使います。多くの場合、［TWAIN対応機器からの入力］のすぐそばにこの項目があるはずです。詳しくは、アプリケーションソフトウェアの説明書をご覧ください。

・接続方法や状況によっては、カメラのIPアドレスを入力する画面が表示されることがあります。この場合には、カメラの液晶モニターに表示されているIPアドレスを入力してください。

次のような画面が表示されます。

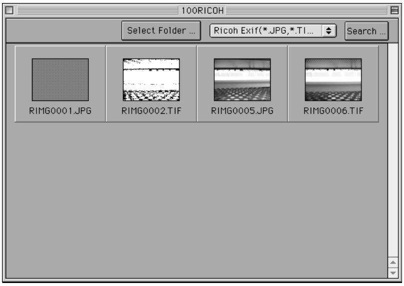


❺［Select Folder］をクリックします。

フォルダーを選択するダイアログボックスが表示されます。

❻一旦、［DESKTOP］をクリックした後、メディアを選択し、目的のフォルダーを選択して、［Select］をクリックします。

選択したフォルダーに入っている画像の一覧が表示されます。



❼目的の画像をダブルクリックします。

これで、選択した画像が読み込まれ、画面に表示されます。